

おすすめの本(中学生)

家 族	「西の魔女が死んだ」 梨木香歩(著) 新潮社 中学一年のまいは、学校へなじみず、田舎に住む西の魔女のもとで暮らすことになる。西の魔女とはイギリス人のまいの祖母で、まいは穏やかな心で何事も自分で決める、という魔女修行をしながら自分の心をとりのもどしていく。
	「満月の娘たち」 安東みきえ(著) 講談社 中1の志保は、幼なじみの美月と一緒に幽霊屋敷にしのびこんだことがきっかけで、お母さんと衝突するように……すれ違う母と娘の心の葛藤と成長を描く物語。
	「戸村飯店青春100連発」 瀬尾まいこ(著) 文春文庫 大阪の下町にある「戸村飯店」の息子たちは見た目も性格も正反対。仲は悪いけどどこかでつながっている兄弟の、関西弁が楽しい爆笑ストーリー。
	「ふくろ小路一番地」 イーヴ・ガーネット(著) 岩波少年文庫 ふくろ小路一番地に住む、子だくさんのラッグルス一家の物語。下町の家族はいつもゆかいな事件でにぎやか。家族で読んで楽しい本。
	「一瞬の風になれ」 佐藤多佳子(著) 講談社 中3まで続けたサッカーをやめ、高校では陸上部に入部する主人公の新一。練習にうちこみつつも、友情に恋に心が揺れる新一とその仲間たちの青春を描く。
友 情	「かがみの孤城」 辻村深月(著) ポプラ社 学校での居場所をなくし、閉じこもっていたところ。ある日部屋の鏡が光り、くぐり抜けた先にあった城にはここと同じような境遇の7人が集まっていた。なぜここに集められたのか、胸をしめつけられる真相に驚きと感動がまっている。
	「なりたて、中学生」 ひこ・田中(著) 講談社 成田鉄男は引っ越しによって小学校の友達と違う中学校に進学することになってしまう。知ってる子はだれもない中学校で、新しい友達とのいざこざや異性とのやりとりに奮闘する。へたれな男子がどんなふう成長するのか、、、。全3巻。
	「リバウンド」 E・ウォルターズ(著) 福音館書店 中学二年のショーンはバスケットが大好き。新学期に不良グループと手を切ってチームに入ることにするが、車椅子にのった転校生デーヴィッドとけんかをしてしまう。バスケット好きな二人が激しくぶつかりあいなながらも互いを理解していく物語。
	「八月の光 失われた声に耳をすませて」 朽木祥(著) 小学館 昭和20年8月6日、広島原爆投下を生きのびた人々の、7編の物語。
	「スカートはかなきゃダメですか」 名取寛人(著) 理論社 著者は男性だけの世界的バレエ団の唯一の日本人ダンサー。女として生まれ、男として生きていくようになるまでの半生と、著者の経験に基づく「夢の叶えかた」を語る。
人権・平和	「ブロード街の12日間」 デボラ・ホプキンソン(著) あすなろ書房 親も家もない少年イールが街を襲う「青い恐怖」がなんなのか、実在したジョン・スノウ博士の助手として、勇気と信念をもって感染症の原因をつきとめようと奔走する。ビクトリア朝ロンドンでのコレラの恐怖と戦った史実に基づく小説。
	「カレーライスを一からつくる 関野吉晴ゼミ」 前田亜紀(著) ポプラ社 みんな大好き「カレーライス」。このカレーライスの食材である肉、野菜、スパイス、お米、そして器とスプーンまですべてを「一」から作った、9か月間の記録。
	「ロウソクの科学」 ファラデー(著) 角川文庫 2019年ノーベル化学賞を受賞した吉野彰さんにとって、小学生の時に先生に勧められたこの本が化学への興味の原点だった。たった1本のロウソクで科学と自然、人間との関わりを伝える名著。
知 識	「ゾウの時間 ネズミの時間」 本川達夫(著) 中央公論社 ゾウもネズミも心臓は15億回打って止まる！サイズからみた生物学！そうだったのか！と発見が楽しい本。絵本版もあります。「絵とき ゾウの時間とネズミの時間(たくさんのふしぎ傑作集)」福音館書店。
	「正しいパンツのたたみ方」 南野忠晴(著) 岩波書店 家庭科は自分の暮らしを整えるだけでなく、社会の中で他者とともに生きていく力である。ごはんのつくりかた、お金や時間の使い方など自立するための知識や技術がいっぱい。こちらもおすすめ→「生活図鑑」おちとよこ(文)福音館書店。